



26

# この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2020年11月1日号

編集 / 毎日新聞社販売局D.クリエイションセンター

## パソナの1200人が淡路島に移住する理由

6日(金)、7日(土) = 暮らしナビ面

人材サービス大手のパソナグループが発表した兵庫県淡路島への本社移転。2024年5月末までに本社社員の3分の2、約1200人が首都圏から淡路島に移り住む見通しです。子育て世代を含む社員は移

転をどう受け止めているのでしょうか。淡路島への移転は同社の経営戦略に基づく決定といいます。創業者でもある同グループの南部靖之代表（68）に詳しく話を聞きました。



今年1月から淡路島で執務を続けている南部靖之の代表としての姿を撮影。同社提供

## アルコール依存 早期発見が鍵

4日(水) = 暮らしナビ面

今年9月、アイドルグループ「TOKIO」の山口達也・元メンバーが、道路交通法違反（酒気帯び運転）の疑いで現行犯逮捕されました。2年前にも飲酒がらみで書類送検

されていますが、なぜアルコールにまつわるトラブルが繰り返されたのでしょうか。アルコール依存症に詳しい精神科医の和田秀樹さん（60）に話を聞いてみました。



## 特集 ワイド

### JR終電繰り上げ

5日(木) = 夕刊特集ワイド

JR東日本は来春から、山手線や京浜東北線など首都圏の在来線17路線で終電を最大37分繰り上げます。繰り上げに踏み切る理由として、新型コロナウイルスの感染拡大による深

夜帯の利用者減少などが挙げられます。大規模な終電繰り上げは1987年に国鉄が分割民営化し、同社が発足して以来初めてです。実施を決めた背景や影響について探ります。



## 論点

### 「周回遅れ」の原因と教訓

4日(水) = オピニオン面

新型コロナウイルス感染症の収束の鍵となるワクチンが早ければ年内にも実用化される見通しです。開発は欧米が先行し、

新たな技術を使っています。国内でも複数の企業が開発を進めています。欧米の「周回遅れ」と言われま

はいつ起きてもおかしくないと考えられている中、なぜ、このような事態になったのでしょうか。関係者の声を聞きました。

同僚たちと好きな本をプレゼンテーションしあう「読書ワークショップ」をしていきます。いかにその本の魅力を伝え、読みたいと思わせるか、趣向を凝らします。熱意を持って紹介されると、普段なら手に取らないような本でも思わず読んでみたくなくなり、視野を広げること、役に立っています。

一覧性がある紙の新聞にも同じ良さがあります。興味がない事柄でも思わず記事が目に入ってくることで、新たな感性の発見につながるかもしれません。

(中本慎二)

